

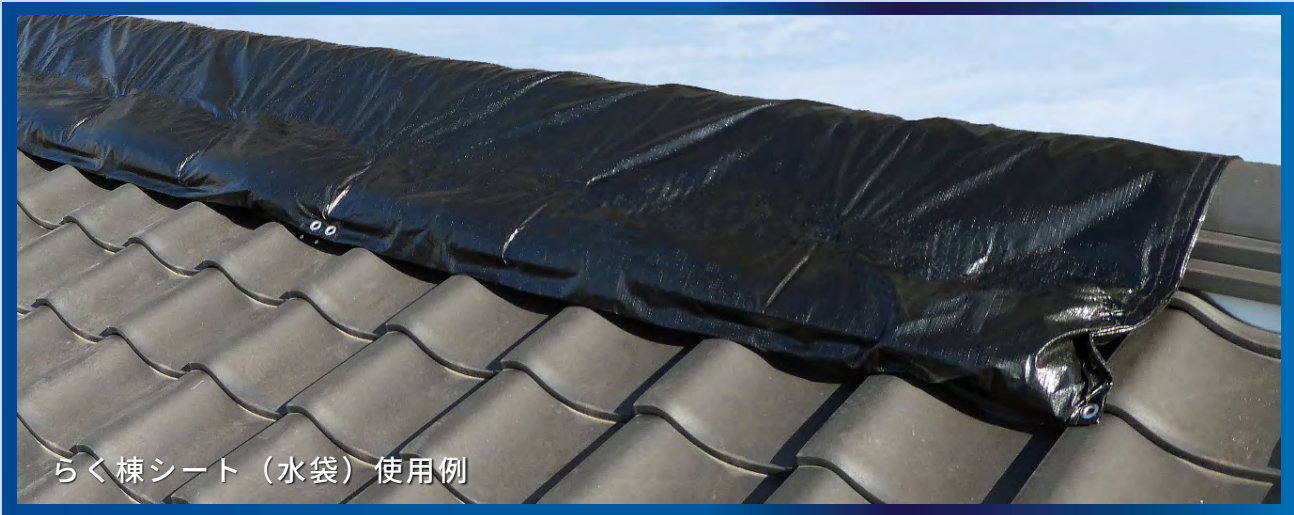
新商品

被災屋根専用養生シート

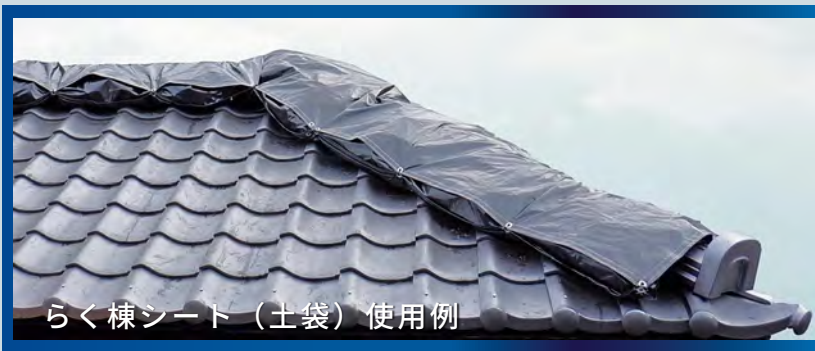


らく棟シート

- ◆ 「早く」「確実に」「安定して」屋根を養生・住まいを守る
- ◆ 復旧スピードアップで被災者に安心を提供



らく棟シート（水袋）使用例



らく棟シート（土袋）使用例

屋根材を選ばず使用可能



化粧スレートでの使用例

専用シートの登場で屋根の養生が変わります

◆ 設置作業に時間がかかる
(5mで60分程度)

◆ 養生の専門知識が必要



◆ 設置作業の時間削減
(水袋40%、土袋25%を削減)

◆ 屋根専門職ではない一般職方でも設置可能

簡単
施工

◆ 劣化しやすく、
2～3か月で再養生が必要

◆ 強風でシートがバタつく



◆ 二重構造で高耐久、
再養生不要(6～12か月耐久)

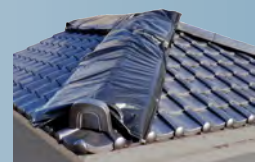
◆ 専用シートでバタつきを軽減

高耐久

◆ ブルーシートと
土袋が目立つ



◆ ブラックで養生箇所
が目立たずスッキリ



美観

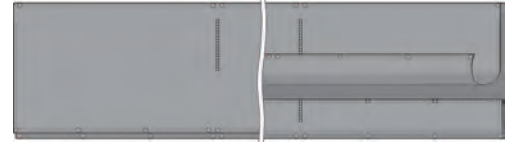
◆ 製品仕様

セット内容

価格：7,900 円（税抜）

内容物	本体シート	水袋用ビニール袋	インシュロック
寸法	幅 1.2m×長さ 5.4m ※1.8mごとに切断可能	幅 0.2m×長さ 2.5m	長さ 300ミリ
枚数	1枚	6枚	15本
材質	#3000 ブラックシート	ポリエチレン	ナイロン

本体シート



水袋用ビニール袋



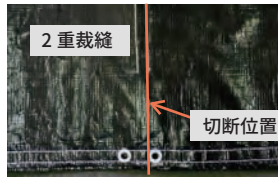
インシュロック



◆ 施工方法

土袋 ※別途土袋 18 枚が必要（5.4m、600 ミリピッチ）

① 地上で本体シートを必要長さに応じ切断する。
（1,800 ミリピッチで 2 重縫製部分あり、縫製の間で切断）



② 土袋にガラ等を入れ、重しを準備する。
（両サイド 600 ミリピッチ分・6～8 kg / 袋が目安）



③ 本体シートを養生する場所に被せる。



④ シートの両サイドの重しポケットに土袋を入れる。



⑤ 蓋部分をかぶせ、蓋部分と端部のハトメをインシュロックで固定する。



インシュロック

水袋

① 地上で本体シートを必要長さに応じ切断する。
（1,800 ミリピッチで 2 重縫製部分あり、縫製の間で切断）
本体シートの両サイドの重しポケットに水袋用ビニール袋を入れる。この時、ビニール袋の注水口端を出しておく。



注水口端は本体から出しておく

② 本体シートを養生する場所に被せる。
（隔棟の場合はビニール袋の注水口端が水上側になるように被せる。）
屋根上にホースを伸ばし、ビニール袋の中に水を入れる。
片荷重部にならないように交互に入れ、本体シートのポケット内のみ注水（約 10 ㎖/m）する。
（縛る部分を残す）



③ 両サイドのビニール袋の注水口端をシート中央部（水の入っているところより高い位置）で縛る。
このとき、低いところで縛ると水漏れする恐れがある。

隔棟は注水口端を水上側にする



水が漏れないよう高い位置で縛る

④ 蓋部分をかぶせ、蓋部分と端部のハトメをインシュロックで固定する。



インシュロック

◆ 製造・販売

◆ 特約店



株式会社 鶴弥



ホームページ

本社 〒475-8528 愛知県半田市州の崎町 2-12
営業部 0569-29-4999 0569-28-5566

2024 年 10 月現在